

和歌山大学生協 入学準備説明会(対面)



[新学期]

取り組み概要

日時：3/9(土)・16(土)・24(日)10～13時
場所：和歌山大学
参加者数や組合員の反応：参加者は1日程あたり25組50人程(オンラインは20組程)でした。

背景や概要：新入生と保護者の不安解消及び、新入生歓迎イベントの参加促進を目的として行いました。まず全体説明をしたあとに学部別相談会を実施しました。そして、食堂に移動して利用体験をしてもらいました。

学生委員・職員・大学教員が連携した説明会

POINT.1

大学教員と協力した説明



ノートパソコン購入のパートではシステム工学部教授が説明されていました。パソコンの機種の説明だけではなく、入学後和歌山大生が使用する学習サポートシステム「Moodle」の説明もされていました。全体説明の中に学長の挨拶動画があり「生協は学生の味方です」と話しており、入学準備説明会全体を通して大学と大学生協の繋がり・一体感を伝えることができていました。このことで、新入生と保護者に大学生協をより安心して使ってもらえることができると考えられます。

POINT.2

和歌山大生の給付事例

和歌山大学は5人に1人が共済給付の事例があるとのことで、共済加入のパートでは和歌山大生の給付事例を使って説明していました。給付事例の話をしたとき、会場内の新入生・保護者からリアクションが見られ、新入生が自分ごととして捉えられる工夫がされていました。全体説明で共済の案内がされましたが、食堂にも共済説明ブースが設置されており、学部別相談会を新入生向けに行っている間は、共済・PCブースに保護者を誘導して説明をしていました。



POINT.3

学生委員会主体で新入生の不安解消



全体説明パートでは、学生生活紹介だけでなく生協学生委員会とはどういう組織なのかの説明をしており、話を聞いている新入生・保護者が学生委員会がどういう組織なのかイメージしやすくする工夫がされていました。学部別相談会では小グループごとに時間割を見せたりしながら同じ学部の先輩に相談できる場作りがされていました。それ以外にも和歌山大生の4年間の生活が分かるCampus Life フェスティバルと、毎年新入生の75%以上が参加するうるかむ Campus という大規模新入生歓迎イベントの内容を紹介し、参加促進に繋げていました。全体を通して学生目線での発表内容になっており、新入生が求める情報を獲得でき、不安解消に役立っていました。